

三重県立みえこどもの城 令和8年度プラネタリウム学習番組案内

◆プラネタリウム学習番組のご利用にあたり

学習指導要領によると小中学校理科の指導計画に天文学習が含まれるのは、主に小学校4・6年生、中学校3年生です。小中学校における理科学習上の位置付けを十分考慮し、天文学習の一助となるよう、新しい指導要領にも対応可能な学習プログラムをご提供いたします。夜間学習や天候に左右されるなど困難な天体観察を扱う天文学習では、プラネタリウムは大変効果的な視聴覚教具です。

以上の観点を踏まえ、学習番組投影内容を記載しましたので、天文学習のまとめや展開時など様々な場面で活用していただければ幸いです。

三重県立みえこどもの城は、今後も先生方と共に児童・生徒の学びをサポートしていきたいと考えています。

◆プラネタリウム学習番組プログラムについて

令和8年度三重県立みえこどもの城のプラネタリウム学習番組では、以下のよう構成で約45分間のプログラムを提供しています。

① 太陽の動き(日の入り)と今夜の星空解説 (約25分)

② 学習指導要領に基づいた学習内容 (約20分)

※小学校4年生クラスは、3種類の内容より1つお選びください。

※小学校6年生クラスは、1種類のみです。

※中学生クラスの内容については、個別にご相談ください。

◆小学校4・6年生の内容について

②の学習指導要領に基づいた学習内容(4年生3種類、6年生1種類)のそれぞれの詳しい内容については、【資料1】三重県立みえこどもの城 プラネタリウム学習番組について をご参照ください。

◆実施期間について

令和8年6月2日(火)～令和9年3月12日(金)の平日(火～金)

①10時～ ②11時～ ③13時～ ④14時～ ⑤15時～

※休館日(月曜日、月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始、学校長期休暇、臨時休館日ならびに一般上映日等は実施しません。

◆申込み方法について

- ① 三重県立みえこどもの城ホームページ「団体利用」の「Step2 団体利用申し込み専用ページから申し込む」の「カレンダー」から、ご利用日を選択し、必要事項を入力の上お申し込みください。
- ② 三重県立みえこどもの城の団体担当が申込みの内容を確認した後、お客様に連絡をし、日時調整ならびに実施日を決定します。
※先着順に受付をするため、実施日の調整をする場合があります。
- ③ 実施日決定後、団体担当から「利用内容確認書」がメールにて届くので、当日までに金額等をご確認ください。
また、ご提出いただく書類に関してもそのメールでお知らせします。
実施日 2 週間前までに必要事項をご記入の上、メール(dantai@mie-cc.or.jp)
または FAX (0598-23-7792) にてお送りください。

※ご提出いただく書類関係は、三重県立みえこどもの城ホームページ「団体利用」の下部「Step4 利用内容確認書を送付します」からも各書類名をクリックすると印刷できるファイルが表示されます。

◆料金について

- ・ご利用当日、現金にてお支払い願います。(欠席者は除外します)
- ・児童生徒：160 円 (団体料金)
- ・引率教職員並びに「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの児童・生徒は、三重県立みえこどもの城利用料金免除要綱により利用料金が免除になります。申し込みの際に担当者にご相談ください。

◆その他

- ・他の利用団体と同席いただく場合があります。
- ・先着順の受付のため、他の利用団体と同席いただく場合は、番組内容も先着でお申込みいただいた団体の希望が優先となります。
- ・交通手段は各学校で手配ください。

三重県立みえこどもの城 プラネタリウム学習番組について

プラネタリウム学習番組は、基本的に次のようなパートで構成されています。
内容は全てプラネタリウム担当職員による生解説となります。

1 太陽の動きと今夜の星空 (25分)

①太陽の動きと日の入り(約5分)

当日午前10時の太陽をプラネタリウムに投影し、その後、時間の経過とともに西の空に沈んでいく様子を実際に太陽を動かしながら確認します。

②今夜の星空解説(約20分)

当日午後9時の星空をプラネタリウムで投影し、その日実際の空で見ることの出来る主な星や星座をご案内します。

春	春の大曲線をたどりながら、うしかい座・おとめ座など春を代表する星座を紹介します。また、北斗七星をたどって北極星を見つけます。
夏	夏の大三角(こと座・わし座・はくちょう座)や、さそり座など夏を代表する星座を紹介します。また、夏の夜空の風物詩である天の川についても簡単に紹介します。
秋	秋の四辺形(ペガサス座)をもとに、アンドロメダ座・みなみのうお座など秋の星空を代表する星座を紹介します。また、カシオペヤ座をたどって北極星を見つけます。
冬	冬の大三角(オリオン座・おおいぬ座・こいぬ座)を中心に、冬の夜空を彩る様々な星座を紹介します。また、冬の夜空の風物詩である「すばる」を紹介します。

2 学習指導要領に基づいた学習内容 (20分)

令和2年度から始まった新学習指導要領の小学4年生・小学6年生の理科天文分野に準拠した内容となっています。小学4年生の内容については、次の表の3種類より1つお選びください。

また、詳しい番組内容については、「ねらい・内容」をご参照ください。

区分	タイトル	ねらい・内容
小4・①	星の色・明るさ、星の動き (約20分)	【ねらい】 ○星の明るさや色を比べてみよう ○星座の位置と星の並び方を調べよう
		【内容】 星はどのように動くのかを予想してもらい、時間を進めていきます。 (例：午後9時の星空→午後11時の星空→午前1時の星空) また、星座線や星座絵を投影し、時間を進めても星座を形作る星の並びは変化しないことをプラネタリウムの星を動かしながら観察します。 星には、明るさや色の違いがあることをプラネタリウムの星空で観察していきます。 ※夏：さそり座アンタレス(赤色)とこと座のベガ(白色)で比較 ※秋・冬：オリオン座のベテルギウス(赤色)とリゲル(白色)で比較
小4・②	星の動きと月の動き (約20分)	【ねらい】 (星パート)○星座の位置と星の並び方を調べよう (月パート)○月の動きを調べよう ○月の形を見てみよう ○月の模様を見てみよう
		【内容】 (星パート) 星はどのように動くのかを予想してもらい、時間を進めていきます。 (例：午後9時の星空→午後11時の星空→午前1時の星空) また、星座線や星座絵を投影し、時間を進めても星座を形作る星の並びは変化しないことをプラネタリウムの星を動かしながら観察します。 (月パート) 月の位置は時間が経つとどうなるのか、見える月の形は日によってどうなるのかなど、プラネタリウムの月を使用して観察します。 また、月の表面の様子を観察し、日本ではウサギと呼ばれる月の模様が、他の国ではどう見られているのかなどを画像で紹介します。
小4・③	星座を探してみよう (約20分)	【ねらい】 ○星座の位置と星の並び方を調べよう ○星座早見盤を使ってみよう
		【内容】 星はどのように動くのかを予想してもらい、時間を進めていきます。 (例：午後9時の星空→午後11時の星空→午前1時の星空) 星座線や星座絵を投影し、時間を進めても星座を形作る星の並びは変化しないことをプラネタリウムの星を動かしながら観察します。 また、星座を探すときの便利な道具『星座早見盤』の使い方を解説します。 ※星座早見盤をお持ちください。(できれば児童(生徒)全員分をご用意ください) 持っていない場合はご相談ください。
小6	太陽と月の形・特徴 (約20分)	【ねらい】 ○日の入り直後の月の形と位置を調べよう ○月の形が日によって変わって見えるわけを考えよう ○太陽と月の特徴を調べよう
		【内容】 月や太陽の表面の様子の違いを画像を使って確認します。 また、宇宙から見た地球とその他の星との位置を確認し、 ①月が太陽の光を反射して輝いていること ②地球の周りを月が回っていること ③月と太陽と地球との位置関係により、月は日によって形が変わって見えることなどを解説します。

各区分(項目)ごとの解説時間 20分